

■ 会社概要 (2018年3月31日現在)

商号：株式会社コロワイド
 所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
 ランドマークタワー12F
 設立：1963年4月
 資本金：140億3千万円
 主な事業内容：1. 飲食店の経営
 2. 各種食料品の仕入販売及び加工販売
 3. 煙草、酒類の販売
 4. カラオケルームの経営

■ 役員 (2018年6月26日現在)

代表取締役会長	蔵人金男
代表取締役社長	野尻公平
専務取締役	蔵人賢樹
取締役	三木裕介
取締役	瀬尾秀和
取締役	黒山葉子
取締役	澄川浩太
取締役 監査等委員	深澤郁太
社外取締役 監査等委員	福崎真也
社外取締役 監査等委員	谷 充 史

■ 株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会：毎年6月開催
 基準日：定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関：東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人：東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社

(郵便物送付先) 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】
 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いたします。

公 告 方 法：電子公告

上場証券取引所：東京証券取引所

■ 株式の状況 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	112,999,920株
	優先株式	30株
	第2回優先株式	50株

発行済株式の総数	普通株式	75,284,041株
	優先株式	30株
	第2回優先株式	30株

単元株式数	普通株式	100株
	優先株式	1株
	第2回優先株式	1株

株 主 数	普通株式	83,450名
	優先株式	1名
	第2回優先株式	1名

大 株 主

株 主 名	持株数		持株比率
	千株	%	
株式会社サンクロード	5,966	8.0	
蔵人金男	4,287	5.7	
蔵人良子	4,192	5.6	
蔵人賢樹	3,264	4.4	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,250	1.7	
鈴木理永	1,094	1.5	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,065	1.4	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	950	1.3	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	909	1.2	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	903	1.2	

(注) 持株比率は自己株式(247,563株)を控除して計算しております。



BUSINESS REPORT 2017

GOING FOR THE TOP IN THE FOOD BUSINESS



COurage LOve WIsdom DEcision
 Colowide's name expresses our attitude toward our efforts to provide more comfortable, enjoyable settings.

第56期 事業報告書

2017.4.1—2018.3.31



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。
さてここに、当社グループの第56期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の業績についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 野尻 公平

■ わが国の経済動向

当連結会計年度におけるわが国経済は、朝鮮半島並びに中東における地政学的リスクが懸念されたとはいえ、総じて世界経済が好調に推移したため、製造業を中心に企業収益が堅調に伸びました。設備投資もIoT投資や省力化投資などによって活発化しており、戦後2番目に長い景気拡大局面にあります。伸び悩みが続いていた個人消費につきましては、雇用・所得環境の改善を背景にして消費マインドが持ち直してきました。しかしながら、実質賃金の伸びが鈍いため、消費者の多くは景気の回復を十分には実感できずにあります。

■ 外食産業界の動向

外食産業におきましては、豪雨・台風・雪害などの悪天候や冬季オリンピックの自宅観戦による外出の抑制、人件費や物流費の増加、米、食肉、鮮魚、野菜などの食材価格の高騰等に見舞われました。また、コンビニに代表される異業種との競合も激化し、更に、商品・サービスに対する消費者のニーズの多様化や選別志向が益々顕著となっております。生活の豊かさを求め価値あるものには支出を惜しまない一方、節約にも努めている消費者のニーズに合った商品・サービスを、納得感のある価格で提供出来るか否かによって、同業種内においても業績の二極化が鮮明になってきております。

■ 主要業態のブランド力の強化

このような状況の中、当社グループでは「すべてはお客様のために」をモットーにQSCA(Q:品質、S:サービス、C:清潔、A:雰囲気)を高め、家庭ではなかなか体験できない様々な料理や高レベルのサービスをお客様に提供することで、「楽しかった、美味しかった」とお客様に喜んで頂けるよう引き続き努めております。そのため過去の成功体験にとらわれず、お客様のニーズを精査するとともに、主要業態のポジショニングを再確認し業態のコンセプトの一層のブラッシュアップを続けております。更に、従業員の福祉と労働生産性の向上を両立させる目的で、勤務時間の短縮についても進めてまいりました。

■ 店舗運営の改善

店舗運営面では、「お値打ち感」のある魅力的なメニューの提供並びにお客様をお待たせしないための店内作業の一層の効率化はもとより、予約の再確認の徹底や客席管理のレベルアップ、お客様とのコミュニケーションの活性化などにも精力的に取り組んでまいりました。

■ コスト管理への取り組みと店舗政策

コスト面では、食材価格の上昇の影響を極力抑えるため、メニュー面での工夫による使用食材の歩留まり向上を図るととも

に、価格変動に機動的に対応した食材調達、仕入れ先の選別及び中期的な契約の締結、発注システムの高度化などを進めました。更に、加工製品の内製化を一層推進するため長浜工場を新設・本格稼働させたほか、グループ各社が使用する各種調味料の規格の共通化、セントラルキッチンにおける生産性の向上、物流センターのエリアごとの集約などにも努めております。

店舗政策につきましては、直営レストラン業態を40店舗、直営居酒屋業態を15店舗、合計55店舗を新規出店いたしました。一方、定期建物賃貸借契約の終了や不採算などにより直営レストラン業態を28店舗、直営居酒屋業態を24店舗、合計52店舗を閉店いたしました。その結果、当連結会計年度末の直営店舗数は1,530店舗となりました。尚、FC店舗を含めた総店舗数は2,721店舗となっております。

■ 業績について

以上のような施策を進めてまいりましたことから、焼肉業態やステーキ業態等の業績は堅調に推移したものの、新規出店が計画未達に終わったことに加え、居酒屋業態や回転寿司業態を中心に、業績の低迷した店舗において減損処理を進めた結果、当連結会計年度の売上収益は2,459億11百万円、営業利益は42億42百万円、税引前利益は27億67百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は11億70百万円となりました。

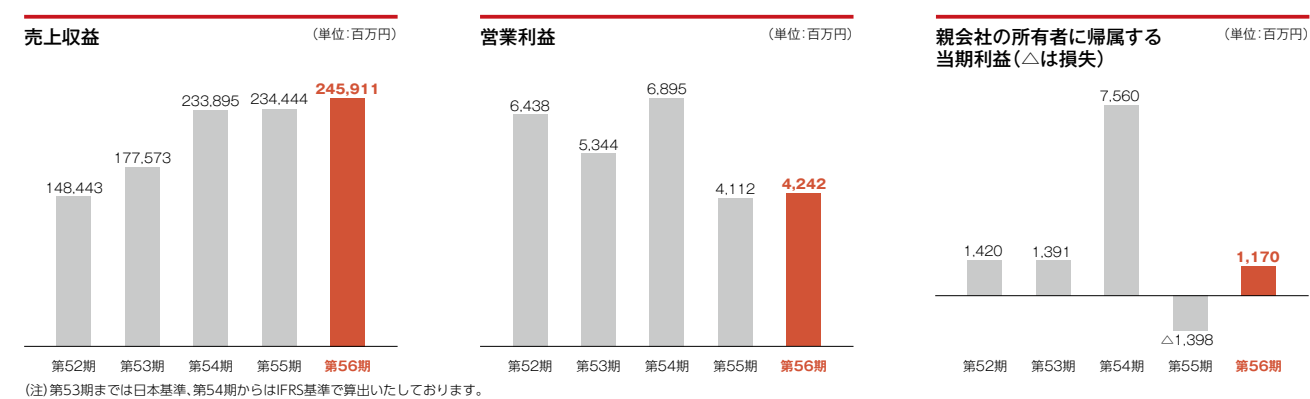
■ 今後の取り組みについて

当社グループにおきましては「食の安全・安心」を心掛け、グループ各社の強みを相互に有効活用した商品力の強化やQSCAの深化などによって、お客様に「楽しかった、美味しかった」と喜んで頂ける店舗作りを継続して目指します。そして、時代の変化に対してより一層適合するため、過去の成功体験にとらわれず業態コンセプトの更なるブラッシュアップと明確化を図り、「売れる商品を、売れる時に、売り切る」ことを心掛けるとともに、全社的に無駄を極力排除し、作業スキルの向上のみならず生産性の向上にも努めます。具体的には、地域のニーズに合わせた店舗作りや業態における独自性或いは専門性の訴求、作業現場の活性化などによって地域ナンバーワン店舗を目指します。

また、海外事業につきましては、日本食に対する世界的な人気の高まりを踏まえ、今後もアジア諸国や北米を中心に積極的な店舗展開に努め、収益の伸張を図る所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

◆ 連結財務ハイライト



社名の由来

COLOWIDE (コロワイド) の社名にこめられた意味



4つのファクターをひとつに

コロワイドの社名は、人が生きていく上で大切な4つのファクターを、ひとつにまとめたものです。従業員一人一人がこの4つの大切な精神を常に心にきざみ、未来にチャレンジしていく強い意志と勇気がこめられた社名です。

業態別コアブランド



グループ体制と出店状況

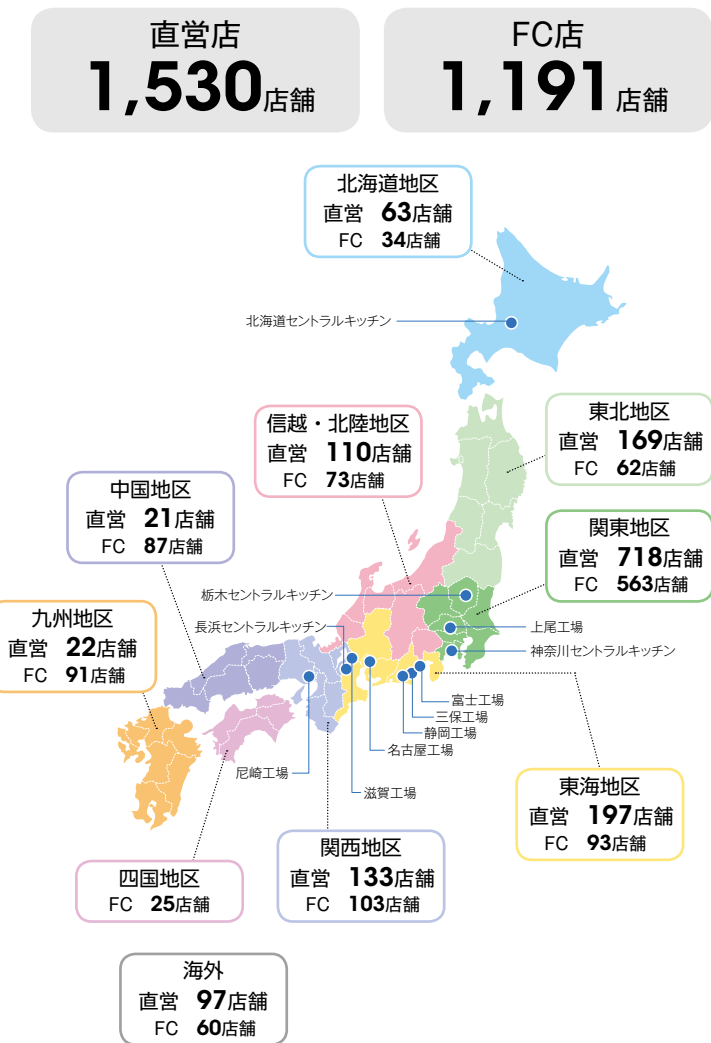
グループ体制 (2018年3月末現在)

- 株式会社 アトム (子会社2社を含む)
 - 飲食店チェーンの運営
 - 東証・名証2部 証券コード 7412
- 株式会社 シルスマリア
 - 生菓子、焼き菓子、チョコレート(生チョコ他)の製造・販売
- 株式会社 コロワイドMD
 - 各種食品の製造・加工・販売、マーチャンダイジング機能及び飲食店の運営
- 株式会社 ダブルユーピージャパン
 - ウルフキャンク・バック・カフェ、エクスプレスの運営
- ワールドビーコム株式会社
 - 外食事業向けセルフ・オーダー・トータルシステムの開発・販売、無線通信技術の開発・運用
- 株式会社 バンノウ水産
 - マグロ類並びに水産物の卸売、加工販売
- COLOWIDE ASIA CO.,LTD.
 - 海外(アジア)での製造及び店舗展開における投資会社
- COLOWIDE VIETNAM.,JSC.
 - ベトナムにおける飲食店チェーンの運営
- 株式会社 コストイズ
 - 各種食材販売、物流
- 株式会社 レインズインターナショナル
 - 外食ブランドの直営及びFCチェーンの展開
- 東京牛角股份有限公司
 - 台湾における飲食店チェーンの運営
- REINS INTERNATIONAL (SINGAPORE) PTE.LTD.
 - 東南アジアにおける飲食店チェーンの運営
- REINS INTERNATIONAL (THAILAND) CO.,LTD.
 - タイにおける飲食店チェーンの運営
- PT.REINS MARINDO INDONESIA
 - インドネシアにおける飲食店チェーンの運営
- 台湾瑞滋国際股份有限公司
 - 台湾における店舗展開の運営
- REINS INTERNATIONAL (USA) CO.,LTD.(子会社7社含む)
 - 北米における飲食店チェーンの運営
- 株式会社 フレッシュネス
 - ハンバーガーブランドの直営及びFCチェーンの多店舗展開
- カッパ・クリエイトコリア株式会社
 - 韓国における飲食店チェーンの運営
- カッパ・クリエイト株式会社 (子会社1社を含む)
 - 直営飲食店チェーンの運営及びデリカ事業
 - 東証1部 証券コード 7421
- 株式会社 コロカフェ
 - 直営飲食店チェーンの運営
- 株式会社 ココット
 - 事務センター



この他に、中間持株会社として(株)レックス、(株)SPレックス、(株)SPCカッパ及びAME-GYU CO.,LTD.があります

地域別店舗分布及びセントラルキッチン網 (2018年3月末現在)



1 安い、旨い、早い三拍子!の 大衆酒場をオープン

コロワイドMDでは、毎日行きたくなる定番居酒屋「3・6・5(さんろくご)酒場」を2月に渋谷、3月に渋谷センター街へ出店いたしました。

店名は、365日、毎日食べても飽きない「美味しさ」、365日、毎日来られる圧倒的な「安さ」、365日、いつでも誰と来ても「気持ちのいいサービス」に込めた思いからきております。

お客様単価はグループでもっとも安い1,700円を想定しております。



2 新工場の本格稼働と 外注品の内製化、物流の統合

近年のレイズインターナショナル、カッパ・クリエイトのM&Aにより、当社グループ西日本地区での店舗数増加に対応するため静岡工場、長浜(滋賀)セントラルキッチンが本格稼働を開始し、供給力向上だけでなく外注品の内製化も推進しております。また、グループのマーチャンダイジング業務の柱のひとつであるパンノウ水産をコロワイドMDの下で一体運営することにより効率性を向上させております。

マーチャンダイジング業務の強化により、大幅な利益貢献を見込んでおります。



長浜工場

3 食べ放題を全店で実施中

かっぱ寿司では、昨年11月に全店実施させて頂きました「食べ放題」が、お客様の大きな反響があり売上向上にも大きな成果がありました。かっぱ寿司のロゴマーク同様、お客様の笑顔と皿が積みあがって出来るタワーを作って頂きたい私たちの思いとお客様のリクエストに本年2月より再開、継続実施させて頂いており安定的に売上貢献しております。



4 「牛角ビュッフェ」が本格展開

レイズインターナショナルでは、「肉は“鮮度が命”」をコンセプトに、店内加工にこだわり切り立て新鮮、ジューシーなお肉を焼肉市場の成長エリアである「食べ放題」で、牛角とは異なるお客様にアプローチしております。大規模店舗で大きな売上額と利益額を生み出すモデルにより今後3年間で55店舗を出店し、店舗売上100億円の事業展開を見込んでおります。



5 中国本土で「牛角、温野菜」FC展開

レイズインターナショナルでは、昨年2月に「容大餐飲管理有限公司」とマスターFC契約を締結し、10月には北京に1号店がオープンしました。既に牛角3店舗、温野菜2店舗が出店しております。牛角のコンセプト「焼肉には人を元気にする魔法があるッ」を中国本土のお客様にお届けするために、今後3年間で65店舗、5年間で130店舗の出店を見込んでおります。





コロワイドグループ全体の
マーチャンダイジング機能の要として

2015年4月に、株式会社コロワイド東日本を吸収合併し、マーチャンダイジングカンパニーとストアカンパニーの2事業部制となり、双方向での迅速な開発体制を構築。マーチャンダイジングカンパニーでは、グループ全体の商品開発・調達・製造・物流などのバックヤードを支える高度なマーチャンダイジング機能を提供しております。ストアカンパニーでは、首都圏、関西圏において創業ブランドの手作り居酒屋「甘太郎」をはじめ、「北海道」「やきとりセンター」などの専門性の高い居酒屋業態を中心に展開しております。



※CK：セントラルキッチン



郊外型レストラン「ステーキ宮」を主軸に
地方都市の的外食ニーズに対応

コロワイドグループの一員として、全国の地方都市へレストラン、居酒屋、カラオケ業態を展開しております。郊外への出店を主軸に「ステーキ宮」をはじめ、グルメ回転寿司「にぎりの徳兵衛」、焼肉「カルビ大将」、美酒・創菜「寧々家」、カラオケ「時遊館」など、来店目的が明確な業態でお客様のニーズにお応えしております。株式会社アトムでは、既存業態のブラッシュアップに力を入れることで、顧客満足度を向上させ、外食事業を通じ安定した食のインフラの一部として、地域社会への貢献を目指しております。



ステーキ宮

にぎりの徳兵衛

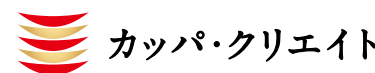
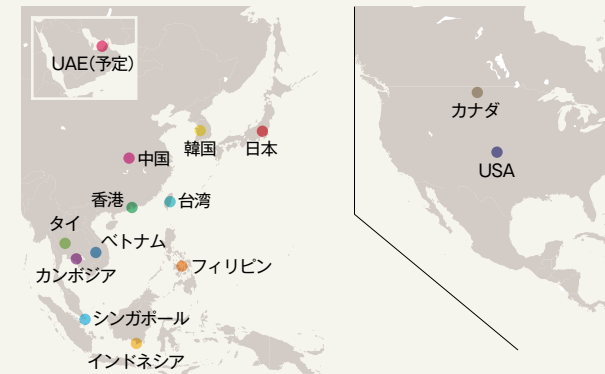
寧々家

時遊館



「焼肉 牛角」「しゃぶしゃぶ温野菜」「フレッシュネスバーガー」など
FCビジネスのプラットフォームとして世界展開

株式会社レイズインターナショナル(以下レイズ)は20年以上にわたり、「焼肉を気軽に楽しむ」という文化を確立してまいりました。安価で質の高いカルビを提供するというチャレンジスピリットは、焼肉業界を活性化しつつ現在に受け継がれ、「焼肉 牛角」「しゃぶしゃぶ温野菜」などのブランドで展開。2016年12月には「フレッシュネスバーガー」がレイズの傘下に加わり、FCビジネスのプラットフォームとして、国内・海外12の国と地域へ約1,500の直営・FC店舗を展開しております。



「かっぱ寿司」と「デリカ事業」を展開
回転寿司業界のパイオニア

1979年に「かっぱ寿司」第1号店を長野県に開業。他店との差別化のため、水槽に桶を浮かべ、その中に皿を置きお寿司を提供していたその様が、河童の皿に見えたことから「かっぱ寿司」と名付けられました。現在は回転寿司事業において「かっぱ寿司」の展開、デリカ事業においてコンビニエンスストアを中心としたにぎり寿司や手巻き寿司、OEMでの弁当、調理パンなどの新規取引先の拡大に取り組んでおります。コロワイドグループの強力なマーチャンダイジング機能を背景に、回転寿司業界における売上高日本一奪還を目指しております。



かっぱ寿司 (外観)

かっぱ寿司

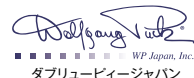
デリカ事業 (寿司)

デリカ事業 (調理パン)

FRESHNESS BURGER

高品質なハンバーガーにこだわり
更なる成長を目指し、店舗展開を拡大

グループ企業の株式会社レイズインターナショナル（以下レイズ）は、「フレッシュネスバーガー」を展開する株式会社フレッシュネスを、2016年12月に子会社化いたしました。今後は、レイズの outlet 及びFC運営のノウハウを活かし、「フレッシュネスバーガー」の展開を加速いたします。



2002年アメリカの著名飲食ブランドを
アジアのフラッグシップモデルとしてライセンス契約

アカデミー賞公式シェフ、ウルフギャング・パック氏がプロデュースする本格カリフォルニアレストラン。2002年より、アジアのフラッグシップ店舗としてライセンス契約。感度の高い商業・オフィスビルなどで8店舗を展開。2017年には、横浜ランドマークプラザにも outlet いたしました。店内の石窯で焼き上げるこだわりのピッツァはお客様に高評価いただいております。



ダブリュービーピッツァ 横浜ランドマークプラザ店



グループ全体の海産物仕入部門として、
価格競争力と安定供給をサポート

超低温（-60℃）で鮮度管理されたマグロや鮮魚などを、グループ店舗への供給に留まらず、近年ではスーパーなどへの販路も拡大しております。外食で重要な食材であるマグロを一船買いし、静岡の自社工場で加工・配送しております。良質な海産物をグループ内外へ、年間を通して安定した価格で供給し、コスト競争力に大きな貢献しております。



静岡工場



セルフ・オーダー・システム販売
国内トップシェア

2002年より、累計約100,000台のオーダー・タブレット「メニウくん」を販売しております。昨今の人手不足や、スマートフォンでのITリテラシーの高まりにより、需要が急増。今後もITを通じて、外食の効率化を進めてまいります。



「メニウくん®」

海外グループ

海外飲食店チェーンの経営、店舗展開の運営、投資など

■東京牛角股份有限公司

台湾における飲食店チェーンの運営

■REINS INTERNATIONAL (SINGAPORE) PTE.LTD.

東南アジアにおける飲食店チェーンの運営

■REINS INTERNATIONAL (THAILAND) Co.,LTD

タイにおける飲食店チェーンの運営

■PT.REINS MARINDO INDONESIA

インドネシアにおける飲食店チェーンの運営

■台湾瑞滋國際股份有限公司

台湾における店舗展開の運営

■REINS INTERNATIONAL (USA) CO.,LTD.

北米における飲食店チェーンの運営

※子会社7社を含む

■COLOWIDE ASIA CO.,LTD.

海外（アジア）での製造及び店舗展開における投資会社

■COLOWIDE VIETNAM.,JSC.

ベトナムにおける飲食店チェーンの運営

■カッパ・クリエイトコア株式会社

韓国における飲食店チェーンの運営



牛角



かつぱ寿司



しゃぶしゃぶ温野菜



NIJYU-MARU



グループ全体の酒類仕入部門として、
調達や商品提案をサポート

グループ店舗に供給する酒類の調達や商品提案を担当しております。メーカーと連携し季節、エリア、業態に合わせた商品を提案しております。国内屈指の酒類販売力を活かした購買力は、圧倒的なコスト競争力を発揮しております。



生チョコ発祥のお店から、
心のこもった洋菓子をお届け

1988年この世界でたった一粒の生チョコレートが、シルスマリアの工房で当時の職人の手によって生まれ「生チョコ」と命名されました。その後何人もの職人の手によって伝統は継承され、未来に残るスペシャルな味を作り続けています。人気の生チョコ「公園通りの石畳」は神奈川県指定銘菓です。



ノーマライゼーションの理念に基づき、
社会参加の機会を拡大

2007年に、特例子会社として設立され、コロナ禍グループ各店舗より送られてくるレポート、サービス券等の回収確認、伝票処理を中心として社会参加の機会を提供し、社会へ貢献しております。



「食の安全・安心」と「社会貢献」

● 衛生管理体制

使用する食材については、厳格な管理基準を設けて徹底した検査を実施しております。店舗では社内検査のほか第三者機関による外部検査も導入し、衛生管理状況を定期的に確認しております。更に、デリカ事業を担当するジャパンフレッシュの各工場では、ISO22000を認証取得しており、徹底した衛生管理を行っております。



● 検査機能の強化

「食品放射能測定システム」を神奈川、北海道、長浜セントラルキッチンに、「金属探知異物検出器」を神奈川、北海道、長浜セントラルキッチン、静岡、名古屋、富士、滋賀、上尾、尼崎工場に導入しております。更に、神奈川、北海道、長浜セントラルキッチン、静岡工場には「X線異物検出器」も導入し、検査機能を強化しております。



● 環境への配慮

新設した長浜セントラルキッチン、静岡工場の冷蔵設備では、フロンガスに代え自然冷媒(NH₃/CO₂)を使用しております。これにより消費電力とCO₂を削減し、環境負荷を減らしております。また、神奈川、長浜セントラルキッチンでは生ゴミ処理機を設置し、野菜の残渣などを堆肥化しリサイクルを行っております。



● 野菜工場（無農薬野菜の研究と供給）

神奈川セントラルキッチン内で、LEDを光源とした野菜の室内型水耕栽培を行っております。温度・湿度・CO₂濃度を制御した環境の中で、無農薬栽培野菜の研究と供給を進めております。



● 社会福祉

ノーマライゼーションの理念に基づき、特例子会社「株式会社ココット」を2007年に設立。グループ会社の伝票処理を主な業務としております。また、現在では神奈川、長浜セントラルキッチン内に事業所を設け、製造ラインで野菜のカットなどを中心とした食品の製造加工も行うなど業務の幅を拡大しており、更なる雇用の創出にも大きくつながっております。



連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	当期 2018年3月31日現在	前期 2017年3月31日現在
資産		
流動資産	54,681	53,909
非流動資産	175,135	179,218
資産合計	229,816	233,127
負債		
流動負債	73,183	80,655
非流動負債	106,317	102,562
負債合計	179,500	183,217
資本		
親会社の所有者に帰属する持分合計	34,599	34,232
資本金	14,030	14,030
資本剰余金	18,740	18,853
自己株式	△153	△151
その他の資本の構成要素	△521	△373
利益剰余金	2,503	1,873
非支配持分	15,717	15,678
資本合計	50,316	49,910
負債及び資本合計	229,816	233,127

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで	前期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
売上収益	245,911	234,444
売上原価	107,253	101,587
売上総利益	138,658	132,857
その他の営業収益	1,523	3,201
販売費及び一般管理費	131,464	126,051
その他の営業費用	4,475	5,895
営業利益	4,242	4,112
金融収益	1,071	453
金融費用	2,546	2,352
税引前利益	2,767	2,212
法人所得税費用	1,370	6,492
当期利益又は当期損失(△)	1,397	△4,280
当期利益又は当期損失(△)の帰属		
親会社の所有者	1,170	△1,398
非支配持分	227	△2,882
当期利益又は当期損失(△)	1,397	△4,280

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで	前期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,658	4,990
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,281	△13,982
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,390	12,545
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	84
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25	3,638
現金及び現金同等物の期首残高	34,631	30,993
現金及び現金同等物の期末残高	34,605	34,631

